

人口と世帯

人口	393,371人
男	195,387人
女	197,984人
(前月より290人増)	
世帯	158,417世帯
(前月より197世帯増)	
(14年12月1日現在)	

第1349号

発行・町田市 編集・企画部広報広聴課
〒194-8520 東京都町田市中町1-20-23
市役所の代表電話042・722・3111
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>



迎春

市指定無形民俗文化財 丸山獅子舞 相原町諏訪神社 (2002年8月20日撮影)

「安心、安全のまち」 を目指して



町田市長
寺田和雄

市民のみなさま、新年明けましておめでとございます。2003年が明るく幸せな年でありますことを、みなさまとともに心からお祈りしたいと思います。

昨年は、相変わらずの深刻なデフレ不況がいつそう進み、暗い世相ばかりが目立ちました。その不況の影響は税収の低落、生活困窮者の増加など、地方財政もまた厳しい局面にさらされております。それだけに、今年こそと、年頭に期すものが大きいのです。

ところで、町田市は本年2月で、市制施行45周年を迎えます。6万余人でスタートした町田市は、急速な都市化により、近く40万人の大台を越えようとしております。人口の順では全国42番目の都市となっております。

急速な高齢化の進行と少子化社会は、現代日本の最も大きな課題です。介護保険の第一号被保険者である65歳以上の占める割合は町田市においても16パーセントに達しようとしております。今年は保険料の改定の年にあたり、目下、厳密な積算をしておりますが、矢張り相当額の値上げは避けられそうもありません。市独自の低所得者対策を検討している段階です。子どもたちが少なくなっているのは、町田市においてもここ10年来の傾向ですが、ただマンションが集中して建設されている地域は、学校、保育園、幼稚園などが不足気味で、小山地区では小・中学校1校ずつの建設を準備中ですし、保育園に至っては4園を一度に建設するという、今まで経験しなかったテンポで待機児解消に取り組んでおります。

また、不況の進行ということも原因の一つかも知れませんが、最近各地での犯罪や迷惑行為が増え、不安を感じると訴える市民の声が増えてまいりました。犯罪の取締りは警察当局の所管事項ではありますが、犯罪の発生しにくい秩序ある地域社会をつくり、市民の一人ひとりがそのために協力し合うということも大切なことです。町田市もまた、(仮称)「市民生活の安全安心条例」をつくり、明るい、平和な市民社会を目指すべく目下検討中です。

まちづくりでは、昨年、町田駅前の都計道3・4・11号線が開通しましたので、これからはいっそう鶴川駅周辺、相原駅とその周辺それに南町田方面を重点に市副次核の整備を進めるとともに、今年には鶴川子どもセンターの着工をはじめ、目下着手中、あるいは計画中の各種施設建設の推進を図ってまいります。

課題は山積しておりますが、さらにいっそうの財政の健全化を図りながら、「安心していつまでも住み続けられるまち」を目指し、今年も頑張っていきたいと存じます。市民のみなさまのご多幸と、ご健勝をお祈りしてごあいさついたします。